

IBARAKI TOYOPET *RACING*

Gazoo 86BRZ レース プロフェッショナルシリーズ 第1戦 参戦レポート

次戦に向けた明るい材料が見えた開幕戦



日付:2017年4月1日(土)～2日(日)

会場:ツインリンクもてぎ

天候:予選 曇り／決勝 曇り

決勝レース:10LAP

結果:予選 19位／決勝 19位



86BRZ レースシリーズ開始から5年。今期よりプロフェッショナルクラスは全車両が後期型 TOYOTA 86 または SUBARU BRZ で戦うこととなった。レギュレーション発表から時間もなく、車両のデリバリーも間に合わないため、エントリー台数も27台と少ない開幕戦となった。

後期型の車両は前期型と比べ車両の仕様に変更がある。本来ならばじっくりとシェイクダウンやセッティング期間を設けて車両を開発するが、今回はその期間が短い。そんな状況のため、昨年まで上位にいた選手が良いタイムを出せていないという事前情報が入った。

この展開は、平木湧也選手にとっては非常に有利な展開。なぜなら平木選手は FIA F4 などフォーミュラカーの経験は長い、ツーリングカーレースは今回が初めてだからだ。また、ツインリンクもてぎは彼にとっては地元。ホームコースで開幕戦を迎えられたのは幸いである。

予選は事前のシェイクダウンテストではツーリングカーとフォーミュラカーの違い、車両のセッティングなど懸念事項があったが、走り慣れたツインリンクもてぎということもあり、当初の予想を上回るタイムを出すことができ、予選19番手につくことができた。

決勝日は茨城トヨペットに本年度入社した新入社員が応援団を結成、グリッドで平木選手の86/BRZレースデビュー戦を大いに盛り上げてくれた。応援団の後押しを受け、素晴らしいスタートダッシュを見せた平木選手。1周目に2台をオーバーテイク。17位まで順位を上げる。このままのペースで走れば更に前を狙えると確信した4周目、なんと前走車両がブレーキトラブルを起こしスピン。間一髪のところでクラッシュは免れたものの、21位まで後退。しかし、堅実かつ安定した走りで順位を19位に戻し、レースを終えた。



混戦の中でも順位を落とさず完走できたのは、次戦以降、更に上位を狙える力を持っているという明るい材料である。

次戦は5月7日、大分県のオートポリスにて開催される。準備期間が短いがマシンとチームの状態を整え、より良い状態で戦う用意をしたい。

平木湧也選手 コメント



初めてのツーリングカーのレースで、結成間もないチームでのプロフェッショナルクラス参戦ということもあり、トップグループで戦うことは出来ませんでした。スタッフ皆さんのサポートもあり、その中でしっかりとデータと走らせ方を模索することが出来、車を壊すことなく完走することが出来ました。ありがとうございました。

プロクラスということで先輩ドライバー方々の駆け引きやギリギリの走りを勉強させて頂きました。次戦に向けて課題をひとつずつクリアして行きたいと思います。

GR86/BRZ Race

Racing Development
TRD

GOODYEAR

PMU

BILLION
OILS

BRIDE